

寄付金はこのように活かされています

平成30年度募金の活用状況



30年度募金実績額

863,552,425円

配分総額

929,817,547円



大規模災害に対応するために

25,000,000円(3%)

- 災害ボランティア活動支援
- 福祉施設の復興支援 など

地域の課題を抱える人のために

314,464,702円(34%)

- ボランティアの育成・研修会の開催
- 様々な福祉活動・相談事業
- 生活困窮世帯への食品支援事業 など

共同募金運動推進のために

112,233,435円(12%)

- 募金活動の資材購入 など

障害のある方のために

137,247,919円(15%)

- 障害者スポーツ交流大会の開催
- 福祉車両の購入及び貸出事業 など

子どもたちのために

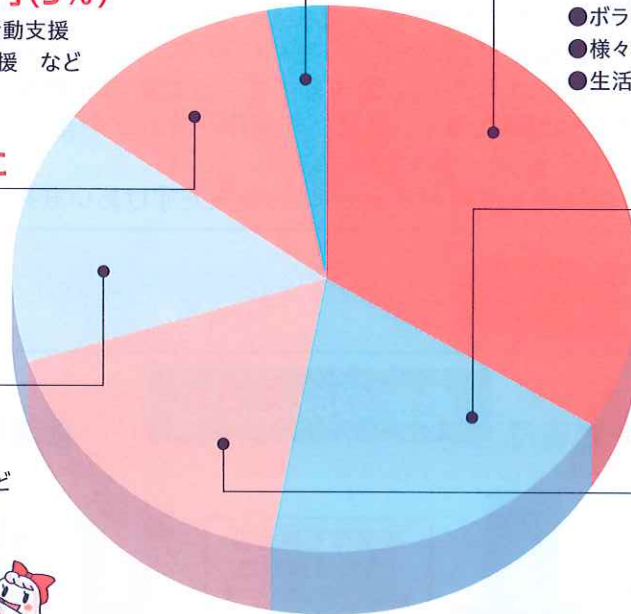
177,193,367円(19%)

- ひとり親世帯の子どもたちへ入学祝品贈呈
- 施設遊具の整備
- 子ども食堂への支援・学習支援 など

高齢者のために

163,678,124円(17%)

- 一人暮らし高齢者等への食事サービスの提供
- 車いすの貸出事業 など



※平成30年度募金実績のほか、繰越金等も含めて配分金としました。



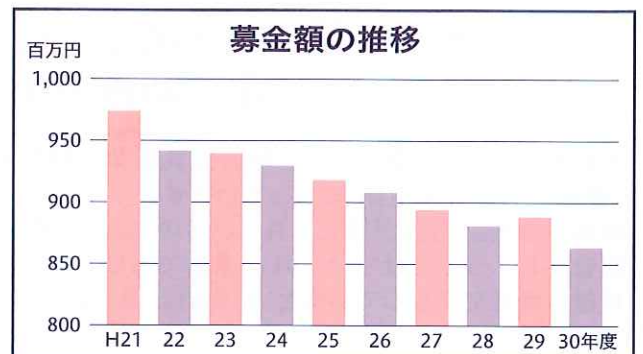
子どもたちの使いやすい手洗い場ができました。



送迎や社会参加のための福祉車両を整備しました。

誰かの役に立ちたくて募金をしたら、
じぶんの町の役に立っていた。
赤い羽根は、自分たちを応援する募金でもあります。

郵便局窓口でも寄付ができます。
下記口座へお振込みいただきますと手数料は無料です。
口座番号 00870-9-20200
加入者名 社会福祉法人愛知県共同募金会
※インターネットバンキングからもお振込みいただけますが、有料になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



社会福祉法人愛知県共同募金会

〒461-0011 名古屋市東区白壁一丁目50番地

TEL(052)212-5528 <http://www.aichi-akaihane.or.jp/>

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



赤い羽根は共同募金のシンボルです。昔、赤い羽根が「善い行い」や「勇気」の象徴とされてきたことによると言われています。

共同募金とは？

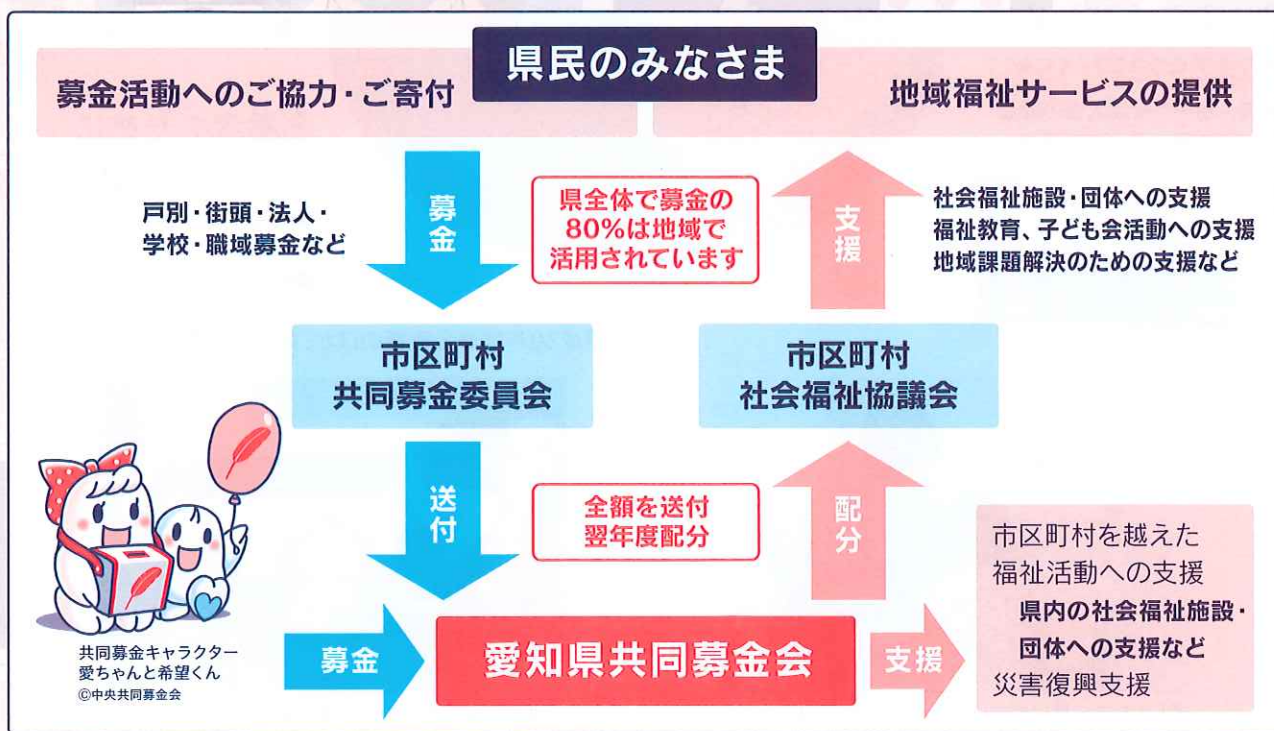
赤い羽根共同募金は、民間の運動として戦後間もない1947年(昭和22年)に、住民が主体の取り組みとしてスタートしました。当初は戦後復興の一助として、戦争の打撃を受けた福祉施設を中心に資金支援する活動としての機能を果たしてきました。

その後、「社会福祉事業法(平成12年社会福祉法に改正)」という法律をもとに、「民間の社会福祉の推進」に向けて、社会福祉事業の推進のために活用されてきました。

そして70年たった今、社会が大きく変化する中で、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む、民間団体を支援する仕組みとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、共同募金は毎年10月1日から全国一斉に行われます。

12月1日から実施する地域歳末たすけあいとNHK歳末たすけあいも共同募金の一環です。

共同募金のしくみ



「誰かの役に立ちたい」というみなさんの助けあいの気持ちを赤い羽根共同募金にお寄せください。

共同募金会は、税制上、国と地方公共団体と同じように、寄付に対する『優遇措置の対象団体』になっています。

税制上の優遇措置が講じられているのは、共同募金会が行う事業が社会福祉法によって位置づけられた運動であり、共同募金による配分が社会福祉の増進に貢献していると、社会的評価を得ているためです。

インターネットでも寄付ができます

ふるさとサポート募金

検索

2019

この広報紙は、こくみん共済coop、東海労働金庫の協賛金により作成しました。

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

こくみん共済 coop <全労済>
こくみん共済coop 検索
<http://www.zenrosai.coop>

健全・安心・貢献
東海ろうきん

東海ろうきんホームページ
東海ろうきん 検索
<https://tokai.rokin.or.jp/>